



# 椎の木

平成30年2月1日  
朝霞市立朝霞第八小学校  
電話：048-465-8381  
男子 547名 女子 511名 1058名

【学校教育目標】 **かしこく・やさしく・たくましく**

## 大人は子どもの教育環境

校長 鈴木 聡

「1月、行く 2月、逃げる 3月 去る」と言われる、この3か月。気付けば、あっという間に1月が終わり、今日から二月を迎えます。毎日、やるべきことの多いのが学校ですが、すべきことに流されることのないよう、日々の活動の充実に努めてまいります。

さて、『子どもにとって、最大の教育環境は教師である。』と言われます。確かに、学校生活に限って考えると、真っ向から否定することもできない部分もあるように思います。

例えば、東京大学・ベネッセ教育総合研究所共同研究「子どもの生活と学びに関する調査2016」によると、以前と比べて勉強が「嫌いから好き」になった子どもは、「嫌いのまま」の子どもより、「授業が楽しい」（18.9ポイント差）、「尊敬できる先生がいる」（5.6ポイント差）と回答しており、学校の授業や教師が学習意欲にとって重要であることが示唆されています。また、授業に関する問いでは「学校の先生以外の人の話を聞く」（9.2ポイント差）の比率に差があり、学校での授業経験が子どもの学習意欲に結び付くことが読み取れるとあります。

この調査では、保護者の関りについての項目もあり、勉強が「嫌いから好き」になった小中学生の保護者は、勉強も教えて励ましもする「勉強&励まし」の比率（6.9ポイント差）が高く、「勉強のおもしろさを教える」、「勉強のやり方を教える」でも差がついており、保護者の関りの重要性もうかがえると考察しています。

このようなことから、学校・家庭が両輪となって子どもの教育に当たることが効果的であるという極端当たり前の結論に行き着き、子どもの近くにいる大人（社会）こそが最大の教育環境と捉えることができると考えます。

ここで思い当たったのは、「君たちはどう生きるか（吉野源三郎著）」の主人公本田潤一（通称コペル君 中学2年生）と叔父さんとの関係です。コペル君は自分とは異なるタイプの様々な友人に出会って視野を広げますが、その中で自分の弱さに打ちのめされる経験もします。そんなとき叔父さんは、落ち込んだ時には力強く、温かい言葉で激励します。時には学問の話をつづり交ぜながら人間のありべき姿を説きます。コペル君は、叔父さんの知性と包容力によって心の学びを新たにしていきます。

作家の吉川英治氏は「我以外皆我師（われ以外みなわが師）」と言われていますが、この境地に至るにはかなりの時と経験が必要と思われます。一人の大人として、一教師として、未来ある子どもと共にあることだけは決して忘れずにいたいと思います。

### ◆インフルエンザ予防(かからない・うつさない)のお願い

県内のインフルエンザ流行に乗り遅れていた本校でも、昨日までに7学級（1, 2年各2学級、3, 5, 6年各1学級）を学級閉鎖としました。そして今も、各学級の欠席状況を注視する状況が続いています。

インフルエンザの感染経路は、①飛沫感染（くしゃみや咳によりウイルスが放出され、それを口や鼻から吸い込む）、②接触感染（ウイルスが付いた物を触った手にウイルスが付着し、その手で口や鼻を触る）と言われます。各ご家庭におかれましては、子どもだけでなく、保護者の皆様も含めたインフルエンザ予防に取り組まれるようお願いいたします。

☆帰宅時、食事前など、こまめに手を洗う。 ☆人混みや繁華街等への外出を控える。

☆室内の湿度を適度に保つ。 ☆咳エチケット（マスクの着用、顔をそらす、こまめな手洗い）

